

和田生活支援推進員の活動記



南沢

生活支援推進連絡会議が開催されました。

9月3日、南沢福祉会館に、南沢地区社会福祉協議会、南沢地区民生委員児童委員連絡協議会の他、区役所や区社会福祉協議会、地域包括支援センター、介護予防センター、ケアマネジャーの方々にお集まりいただきました。

コロナ禍にあって、それぞれの活動状況について情報共有し、新たな生活様式を取り入れながら、少しずつサロンや老人クラブなどの活動が再開されていることが確認できました。

また「町内会関係者とケアマネジャーとの情報共有が必要」とのご意見がありました。

今回は、南沢地区にお住いの高齢者の方々の「暮らしの困り事」「日常生活上の望まれる支援」にはどのようなものがあるのかを把握するため、アンケートの実施に向け検討します。その結果を基に、南沢地区に

「あったらいいなと思う社会資源」や「お互いの支え合いの仕組み」について、皆さんと一緒に考えていきます。



ゴミ捨ての困りごと……



●「体調が悪い」・「足腰が痛くてゴミを運べない」・「ゴミステーションが遠い」・「冬は滑りそうで心配」など、日々のゴミ捨てについて悩まれている方も多いかと思えます。「近所の方が声をかけてくれる」・「別居の家族が持って行ってくれる」・「お金を払って支援を受けている」など、個々に対策をしている方もいらっしゃるかもしれません。

●日々の衛生的な生活環境を維持するためには、ゴミの処理や処分は欠かせません。ゴミステーションの設置場所や利用の仕方などについては、地元町内会はもちろん、利用する皆さん一人ひとりのご理解とご協力が必要です。

●当たり前に行っていたゴミ捨ても、様々な事情で大変になってくることは皆さん一人ひとりの問題にもなっていきます。最近は「ゴミ出し支援」についての相談や、サービス事業所でのゴミ出し代行を検討される方も増えています。これから迎える雪の季節、除・排雪と共にゴミ出しなどの日常生活上の困りごとに関して、地域の皆さんと考えていきたいと思えます。



★コロナ感染予防には、3密を避け、人との距離の確保、マスク着用、手洗い消毒が大切です。

★こんな時こそ、ちょっとした声掛けや電話連絡などで「生活上のつながり」を絶やさないようにしましょう！



【発行・お問合せ先】南区第2地区（藤野・簾舞・定山溪・藻岩・南沢）担当
生活支援推進員：和田志保

〒005-0804 札幌市南区川沿14条2丁目1-36

札幌市南区第2地域包括支援センター内

Tel (011) 572-6110 Fax (011) 572-7075